



かなうさ! 2月号



北海道美唄尚栄高等学校

〒072-0024美唄市西1条南6丁目1番1号

Tel & Fax 0126-64-2277(事務室/FAX)

0126-64-2275(職員室)

URL <http://www.b-shoei.hokkaido-c.ed.jp/>



卒業生へ 人は自らの力だけでは生きていけない

北海道美唄尚栄高等学校長 升田重樹

3月1日(金) 卒業証書授与式が行われ、3年次生たちが本校から巣立っていきます。3年間で成長した姿を頼もしく感じると同時に、卒業式が終わると3年次生の顔が見られなくなる寂しさで複雑な心境です。どうか美唄尚栄高校の3年間で培ったものを誇りに、笑顔で卒業式を迎えてほしいです。

昨年度の生徒会誌でも掲載した内容ですが、卒業するにあたり、感謝することはなにかということメッセージ(私の体験から)として伝えたくお話しさせていただきます。

私は高校に入学してラグビー部に入りました。精神的にも肉体的にも未熟であった私は日頃の厳しい練習の疲れからか、授業中に居眠りをしたり、学校の学習に集中できない状況にありました。そういったことから1年生の後期の定期テストで成績不振科目が4科目となり、父親が学校に呼び出されることになりました。父は数人の先生からお話を聞きながら、ひたすら頭を下げていました。自宅に戻り、父から何を言われるのかと落ち込んでいた私に、父は「一度始めたラグビーは厳しくても最後まで続けなさい」と、勉強のことに對して何もなく、この一言だけでした。私はその時に父に対して本当に申し訳なく思いました。それまで自分は何のために高校に入学したのか全く考えていませんでした。その後は最低限のことができていなかった自分を恥じて、学習と部活動を両立するように努めました。決して学習成績は良い方とは言えませんでした。卒業後は大学に進学させてもらい、大学でもラグビーを続けることができました。今は亡き父との思い出の中で一番印象に残っていることであり、今日の私があるのは父のおかげだと深く感謝しています。

今振り返ると高校時代の私は本当に弱い人間でした。しかし、人は自分の弱さと葛藤することで強くなる、それを繰り返すことで新しい自分を発見することができるのではないのでしょうか。「弱い」と感じたときこそ、強い自分になることができるきっかけだと思おうようにしてみましょう。自信と不安の中で葛藤することが、その人間の成長を促す大きな力になると信じています。

生徒の皆さんは入学から卒業までに保護者の方々を含め、様々な人の協力や支えがあることを忘れてはいけません。高校を無事卒業できたとしても、そこからたくさんの困難や壁が立ち上がることでしょう。自立した人間になるためには卒業後も保護者の方々の協力を得なければならぬことはあると思います。人は自らの力だけでは生きてはいけないということです。でもいつまでも他の人間に甘えることはできません。卒業生も在校生も、日頃自分を支えてくれている人たちに深く感謝し、いずれ恩返しができるような社会人となるように、日々努力を積み重ねながら自らを磨いてほしいと心から願います。



第13回卒業証書授与式

3月1日(金)、卒業証書授与式が挙行されます。

1組早川先生、2組藤崎先生の呼名の中、升田校長より42名の生徒に卒業証書が授与されます。皆勤賞の安海信玄君、渡邊瑠梨さんをはじめ、三年間、勉学に、部活に、学校行事に、一生懸命取り組んできた生徒たちでした。

ご家族の皆様、本当におめでとうございます。

外部表彰

総合学科優秀賞	沼達 藍音
産業教育振興中央会長賞	木村 真彩
栗林育英学術財団研練褒章	佐藤 大翔
全国農業高等学校長協会賞	前田 衣舞夏
日本学校農業クラブ連盟	
北海道連盟賞	中森 祐斗
日本学校農業クラブ連盟会長賞	富樫 奈々花
全国商業高等学校長協会賞	石川 楓

課題研究発表会

1月26日に本校体育館で、課題研究発表会が開催されました。

これは3年次生が、文学史研究、理科、工業科、農業科、商業科、家庭科の6のグループに別れ、課題を設定し、1年間にわたり研究を行い、その成果をパワーポイントを活用して発表するもので、総合学科の特色ある教育活動のひとつです。2次の審査を通過した各グループの代表作品が、全校生徒の前で発表されました。

発表後は北海道教育庁空知教育局の深戸主査より、それぞれの作品対しご講評をいただきました。また美唄市長桜井恒様、美唄市教育委員会教育長石塚信彦様をはじめ多数のご来賓、保護者の方々も来校され、盛会に終了出来ました。

文学史研究：「～宮沢賢治の世界へ～」
3年 沼達藍音

理科課題研究：
「四つ葉のクローバーの発生確率を求める」
3年 嶋崎珠歌 村嶋泰銘

工業科：「カントボードの製作」
3年 伊藤勇太

農業クラブ：「美唄産大豆の新たな活用方法
～アレルギーに対応したアイスの開発～」
3年 中森祐斗 林裕介 熊澤空飛
富樫奈々花 前田衣舞夏

商業科課題研究：
「メタバースを使って空知に人を集めよう！」
3年 今将馬 木村真彩 小野寺啓太

家庭科課題研究：「インテリアについて」
3年 田口佑菜



進路学習

本校では、生徒の進路実現に向けて様々な取組を行っています。

「分野別模擬授業」令和6年2月8日(木) 5・6校時実施

「産業社会と人間」(1年次)、「総合的な探究の時間」(2年次) 2時間分を活用し、11分野の授業を実施しました。

札幌などから講師を招き、普段の授業では体験できないより専門的な内容の授業を受けました。生徒は自分の進路や興味関心の高い内容を選択し、真摯に講師の指導を受けていました。



「校内職業説明会」令和6年2月26日(月) 5・6校時実施

美唄市役所経済観光課の支援を得て、美唄市内の企業・事業所による職業や業務についての説明会を実施しました。

12の企業・事業所の方々に来校いただき、現場の声を聴くことで、生徒は地元企業・事業所の理解と職業観を深め、今後の進路活動に対する意欲や意識の向上を図ることができました。



「美唄市内高等学校教育振興会」 ありがとうございます

上記振興会は、本校生徒の検定試験や模擬試験等にかかる受験料に対し、補助金を支給してくれています。高額な検定料がかかる資格もありますが、費用面で心配することなく、生徒たちはチャレンジすることができました。

令和5年度

資格取得状況

計算技術検定	3級24名	第二種電気工事士	4名
日本漢字能力検定	準2級2名、3級6名	実用英語検定	準2級1名
全商ビジネス文書実務検定	2級4名、3級18名	全商情報処理検定	3級6名
速度部門	2級1名、3級4名	全経電卓計算能力検定	3級4名
全経簿記能力検定	2級7名、3級11名		